

はじめに

社会の変化に伴い、学校教育は大きく変わろうとしています。個性を生かす教育の推進、新しい学力観に基づく評価、情報化や国際化への対応など学校は、多くの課題を抱えています。

各学校にあっては、これらの課題を踏まえた特色ある教育の創造が求められています。その成否は教職員一人一人の力量によるところが大きいことは、言うまでもありません。また、教職員の指導力の向上は、県民の願いであり、その期待に応えていくことは個々の教職員の使命でもあります。

そのため、個々の教職員は授業実践の場や校内研修の場において、自ら主体的に課題意識をもって子どもたちにかかわっていく姿勢が不可欠です。そして、学習面や生活面において、まず、児童生徒の実状を具体的にかつ適切に把握し、課題や問題点を明確にしておくことが重要となります。そして、そうした個々の課題や問題点を学校全体の研究主題や研究内容として具体的にかつ丁寧に反映していき、組織体としての学校の教育力を高めることが急務となっています。

それは、学校教育の質を向上させ、児童生徒の健やかな成長を促す大きな力となり、地域から信頼され満足度を高める学校教育の基盤となります。

こうした教職員の主体的な不断の姿勢があってこそ校内研修が実効性を持てきます。校内研修が教職員の指導力の向上を支えるような体制や内容で、研究の積みあげがなされるよう機能させなければいけません。

教育改革の只中にある各学校において、充実した校内研修が行われ、一人一人の教職員の資質向上が一段と進み、学校の教育力が向上することを願っています。本書がその一助となれば、幸いです。

平成17年3月

高知県教育センター所長 濱田 治